

第3章

地球市民学探究講座

大 矢 美 香

1. 目 標

本講座も生命科学探究講座と同様に、学校特設科目であるSLPⅡとの関連を考えて設計した。SLPⅡの地球市民学は高校二年次に一単位履修する。本講座はこの内容をさらに発展させ、大学の学びへの接続を目指した。本講座の目標は、世界のグローバル化に伴う様々な問題や課題について生徒に認識させ、地球市民としてどのような役割が期待されるのかを生徒自ら発見することである。そのために、客観的な観点から様々な知識を統合し、最終的には地球市民として個人のレベルで何ができるかを考えさせる。これらの目標から、生徒に身につけさせたい学びの力は、人文・社会が科学的な課題の発見と課題解決力、社会科学における論理的思考力、科学的な探究力（データの解釈・分析・批評）、自覚的なキャリア意識の形成である。

2. 学習方法

本講座の特色は、グループまたは集団課題を積極的に取り入れることで、講義で学んだことを、ワーク・アクティビティの一例として、集団討議やグループ・シミュレーションなどが実施された。

3. 実践内容

第一章の付表参照

4. 成果と課題

次の表は一回毎の授業後に生徒へ実施したアンケートの集計である。「大変そう思う」を1、「だいたいそう思う」を2、「どちらともいえない」を3、「あまりそう思わない」を4として集計したところ、以下のような結果を得た。

質問1 今日の授業内容はよく理解できたか？

(%)	1	2	3	4
2013	26.15	64.00	7.38	2.46
2012	35.62	62.09	1.96	0.33

質問2 今日の授業の内容に興味が持てましたか？

(%)	1	2	3	4
2013	45.23	46.46	6.15	2.15
2012	51.63	44.12	4.25	0

質問3 何か新しいことを発見することができましたか？

(%)	1	2	3	4
2013	45.68	46.60	6.79	0.93
2012	51.63	37.58	10.46	0.33

質問4 授業後に自分で調べてみたいという気持ちが生まれまし
たか？

(%)	1	2	3	4
2013	26.54	53.09	15.74	4.63
2012	24.84	55.23	19.61	0.33

質問5 授業に意欲的に取り組むことができましたか？

(%)	1	2	3	4
2013	33.33	53.27	11.21	2.18
2012	38.49	53.62	5.59	2.30

質問4を除いて、「大変そう思う」と「だいたいそう思う」と答えた生徒の割合は全体の80%以上を占めている。特に、質問1、質問2、質問3に関しては全体の90%を占めている。このことは、生命科学探究講座と同様に、授業内容に対する生徒の高い意欲と興味関心を読みとることができる。また、質問4の授業後に自分で調べてみたいという気持ちがうまれたかという質問にたいして、「大変そう思う」と「だいたいそう思う」が全体の79%であり、ほぼ8割という数字は、受講生徒のこれからの学びの拡充を期待させるものである。

また、生命科学探究講座と同様にこのアンケートでも自由筆記の項目があり、生徒の声を抜粋すると、「地球の問題などを自分の問題として受け止めた上で、話を聞くことができたと思う。」「自分には関係ないと言い切れるものが一つも無かった。」「国際問題・日本の問題を、自分に関係あることとして捉えることができた。」「自分の将来に関わる。」など、多くの生徒が、地球規模の問題を自分の問題として考えることができ、地球市民として大切なことであると言える。また、「討論から、多くの対策の方法を学び対策を立てることができた。」「講義・動画・本など様々なことから国際協力について学べた。」「表やグラフから客観的に見ていくのも楽しかった。」など、問題解決への多様な方法をも学んだようである。そして、この講座を受講して広がった興味・関心をさらに深め、探究する意欲を失わせないような働きかけをどのようにしていくかが今後の課題として挙げられる。